

保育(育児)サポーター養成講座の修了生有志でグループ活動として「芦屋保育サポートセンター」を結成し、活動開始。ファミリーサポートセンター設立に寄与するとともに、新たに「保育グループにここ」を組織し、地域での子育て支援を実施。

地域：兵庫県

主体：芦屋市女性センター（公設公営）

場所：〒659-0092 芦屋市大原町2-6 ラ・モール芦屋2階

連絡先：TEL (0797) 38-2023 FAX (0797) 38-2175

ホームページ：<http://www.city.ashiya.hyogo.jp/women/>

【センターの概要】

男女共同参画社会を目指す市民活動を支援するため、平成6年8月に設置。講演会(年1回：男女共同参画週間事業)、各種講座(年間10講座)、相談事業、情報事業、団体・グループ間のネットワークづくり(登録団体「芦屋市男女共同参画団体協議会」を組織。事務局：当センター)等を実施。

【連携先及び事業内容】

芦屋市生活環境部経済課

女性に対する就労支援講座

(財)21世紀職業財団・西宮公共職業安定所(ハローワーク西宮)の協力を得て、再就職を希望する女性を対象に講座を2日間開催。

- ①講演「私だって働きたいー再就職するあなたへのエールー
- ②ワークシートによる適正発見
- ③求人情報の集め方、就職活動の仕方
- ④パソコンによる求職情報の検索と相談

芦屋市商工会

女性の再就職適性講座(キャリアカウンセリング)

「女性の再就職のための能力開発や適性発見」のための講座の開催を働きかけ、商工会・阪神南地域中小企業支援センター主催で開催。キャリアカウンセラー有資格者4人が講座修了後個別のキャリアカウンセリングを実施。

NPO法人

NPO・コミュニティビジネスに関する無料相談会

「NPOさんびいす」は女性センター登録団体のうちのひとつで、IT関連サポート事業を中心に人材育成・人材登用の場の創出や地域コミュニティの活性化を目指す取り組みへの支援等を活動目的としており、センターで月1回の無料相談会を開催し、市民の活動支援やネットワークづくりを行っている。

女性センター講座「編集ボランティア養成講座②ーパソコン編ー」

地域や学校で行うIT関連サポート事業を、行政の事業にも活かしてもらうため今年度初め

て講座の講師として迎えた。地域団体の持つ活力を行政の事業を通して市民に提供できる機会でもある。またこの講座の修了生は、地域での活動に参加したり、女性センター通信の編集ボランティアとして活動することで、地域力のアップにつながればと考える。

(財)21世紀職業財団

(財)女性労働協会

保育(育児)サポーター養成講座

ファミリーサポートセンターの設立を目指して、地域での子育て支援のための保育サポーター養成講座を実施。

《教わったことが社会に還元された取組例》

ファミリーサポートセンターの設立を目指して、地域での子育て支援を行うサポーターの養成講座を(財)21世紀職業財団及び(財)女性労働協会と連携して実施。事業初年度の講座修了生有志でグループ活動として「芦屋保育サポートセンター」を結成し、活動開始。その後の講座修了生有志も活動に参加。事業開始5年目にファミリーサポートセンターがオープンし、「芦屋保育サポートセンター」は発展的に解消し、メンバーは、ファミリーサポートセンター協力会員として活動する一方、一部メンバーにより新たに「保育グループにこここ」を組織し、グループ保育を活動の中心とする地域での子育て支援を実施。

<女性センター講座案内>

育児サポーター養成講座

日 程	カリキュラム	講 師 敬称略)
10/21(月)AM・PM	オリエンテーション 心の発達とその問題	講座担当職員 白川 蓉子(神戸大学発達科学部教授)
22(火)AM	育児支援の背景	上田理恵子(マザーネット社長)
22(火)PM	子どもの栄養と食生活	徳満 広江(学校栄養士)
23(水)AM	子どもの遊び	原坂 一郎(神戸市立憂合保育所保育士)
23(水)PM	子どもの健康管理	鈴木 紀元(小児科医)
24(木)AM	子どもの世話	棚原 博子(市担当者)
24(木)PM	病児の保育	渡辺 厚子(芦屋病院助産師)
25(金)AM	子どもの身体の発育	瀬戸山敏子(市保健センター保険師)
25(金)PM	保育サポートの今後の活動等	吉田祐美子(芦屋保育サポートセンター代表) 西村 雅代(市担当者) 林 雍子(市担当者)

AMは午前10時～12時、PMは午後1時～3時(最終日のみ4時)

- ◆ 場 所 芦屋市女性センター
- ◆ 対 象 地域で育児サポートを志す方 30人
- ◆ 受講料 無料(別途要資料代2,500円)
- ◆ 申し込み 電話・ファックス・はがき・Eメールで住所・氏名・年齢・電話番号・講座名を明記の上、10月16日までに女性センターへ。
- ◆ 主 催 芦屋市女性センター・(財)女性労働協会